

幼稚園での一コマ 🌷ごあいさつ🌷

朝の戸外遊びからお部屋へ戻る途中に、子どもたちは職員室に寄ってくれます。一人ひとりがお挨拶をしてくれるのですが、見本となるご挨拶をさくら組の子どもたちが頑張ってくれたお陰で、年中組年少組のお友だちも見よう見まねで丁寧にしてもらえるようになりました。さくら組さんはこの1年間で大きく成長しました。勿論、幼稚園3年の間に培った物事も大きな要因だと思います。

3学期になり、時間帯を考えてするご挨拶を子どもたちに提案してみました。「朝昼夕に3つあるのでいつ使うのかを考えてみて下さい。」と声をかけていました。すると、15時ぐらいにご挨拶をしようと職員室に来てくれた園児が、「今は、‘こんにちは’でいいんだよね？」と聞いてくれるようになりました。ちゃんと考えて発言する姿が見られて、とても嬉しく思いました。ご挨拶は強制になる指導はしないようにしています。子どもたちが自発的にしてくれた時、みんなにわかるように褒めてあげるようにしています。また、必ずいつもと同じように返事をする事を心がけています。

今回は先日ご協力いただいた「施設関係者アンケート」結果について書いてみました。いただいたご意見は関係者内で共有することから、その内容と回答(回答できるもの)を記載させていただきます。個人的な心配事や園児の個人情報になるものは略させていただきますが、年度移行することから面談などでお話ができるようにしたいと考えていますのでご了承いただきたいと思います。文字ばかりになり読みにくい点はお許し下さい。尚、今回は2月に予定していた役員会が中止であったため、新年度の役員会で協議する内容になるかと思えます。

いただいたご意見の紹介と回答(回答できる場合)

- ① 「担任の先生だけでなく、全ての先生が名前を呼んでくれて接して下さるのがありがたい」
- ② 「毎日の給食の写真をわんぱくだよりでもいいので1・2枚載せて欲しい。」

答・幼稚園部は「チャレンジ給食」だよりを発行していました。保育部ではありませんでした。

わんぱくだよりに載せることは難しいのですが、各学期末にクラスだよりに載せることは可能だと思います。職員会や新年度役員会で話し合います。

- ③ 「発表会はひよこ組さんの出演まで保護者に会わないようにしてもらった事で幼稚園で頑張った成果を見れて良かった」
- ④ 「安全に保育していただいて感謝しています。また、家では肉や魚の食べむらがありますが、幼稚園では毎日完食して帰ってくるので栄養が摂れているので安心です。毎日登園するのが楽しそうです。」

答・ありがとうございます。安全面においては新年度4月から気を付けて保育を行います。給食に関しての安全面にも気を付けていきます。

- ⑤ 「体操服のゼッケンは、名前だけではダメでしょうか？クラスが上がるごとに毎回付け直しをしているので。」→回答・是非毎年お願いします。クラス名があることで子どもたちは自覚と意

欲を持つようになります。「お母さんがしてくれたんだよ」と言い喜んでいます。

- ⑥ 「いつも子どもたちのために尽力して下さる先生の皆様には本当に感謝しています。あたたかい目で子どもたちを見守って下さり、ありがとうございます。」

- ⑦ 「ジェンダー(多様性)についてです。先日の発表会は素晴らしかったのですが、多様性を重視するのならば、男の子のお遊戯、女の子のお遊戯(着る物)と分ける必要があるのかな？と少し思っていました。中略 デリケートなことではありますが、少し配慮が必要なのかなと思いました。

※次項も関連します。

- ⑧ 「ジェンダーについて、帽子の色など統一するなど身近なところから始めるべきではないでしょうか？。おゆうぎ会のプログラムは男女の差別化があまりにも顕著で驚きました。本人の希望による選択制、またはどちらかのイメージに偏りすぎないプログラムの作成・選択が必要だと感じました。多様性の理解、個人の尊重というのは何も性教育だけとは限りません。中略 「男の子らしさ」「女の子らしさ」を押し付けられたくない人間はたくさん存在します。まずはそこから理解していただきたいです。」

答・↑2項 令和4年度から「多様性」とご意見をいただき、それについて考えてきました。

当時の役員会でも協議してきました。帽子の色についてはその時話題になりました。今すぐは出来ないで様子を見ることになっていましたのでお伝えします。やはり入れ替えとなるとご負担が生じるし、今のピンクが好きだったりする子どももいます。これからの問題であると捉えています。また、発表会のプログラム構成ですが、全くの誤解です。不快に思われたのであれば、誠に申し訳なく思います。ただ、当園ではほとんど全ての行事になりますが、子どもたち主体で内容を決めています。子どもたちが「この曲がいい！」と希望しクラスみんなが納得した内容を大切にしています。「お泊り保育」「運動会の選曲」「発表会の内容」「お店屋さんごっこの出店内容」など全てクラスで話し合い子どもたち自身が決めています。今回のお遊戯の部分も同じです。ただ、一人ひとりが全て違う曲を選ぶことは不可能なので、クラス担任は発達段階を考慮しながらいくつかの曲を用意します。過去には男女混合で行ったこともあります。その都度子どもたちの発達段階によって考えていきます。本年度は特に「心」の育ちを重視して全ての行事を進めて参りました。衣装については現時点で回答を控えさせて下さい。

年中少組においては、本年から異年齢児でクラスを構成しています。指導は難しい面があったようです。みんなそれぞれの個性を持ち、なかなかまとまらないことが多いクラスでもありましたが、おゆうぎでは素晴らしい発表が出来ていました。私は現担任の指導力を称賛したいです。

幼稚園は子どもたちにとって一番最初の社会生活になります。家族以外の異性と初めて出会う所となります。多様性の核には、人権があると思います。先ず人生最初の小さな社会である幼稚園でできることは何かと考えた時、子ども一人一人の人権を守ること、一人ひとりをそれぞれ受け入れることから始まる物事だと思いました。子どもたちの個性を大事にして、

幼児期に適した教育保育を提供できるようにしていきたいと思っています。このご意見は、子どもたちの「心の安全」にすぐつながることであると思います。書面で伝えるには限界があり、うまく伝わらないかもしれませんが、ご意見ありがとうございました。

- ⑨ 「先生方は皆気さくで話しやすいので何かあっても相談ができます。行事を短縮したことにより、子どもたち（特にひよこ・もも組さん）や先生方、保護者の負担も減ったのかなと感じました。」

答・何でも話していただけるような雰囲気作りをこれからも続けていきたいです。

- ⑩ 「夏祭りは親も子も楽しめましたが、店員さんをしているときは、どちらかの子どもしか見れず少し残念でした。（父親がおやじ会のため）」

答・おやじ会の皆さんに説明が不足していました。子どもたちのお店時間は一緒に過ごしていただけるように呼びかけるように致します。

- ⑪ 「どの行事も先生たちのお陰で、見ていて子どもの成長を感じることができました。」
- ⑫ 「園内はいつも整理整頓・清掃されており、子どもたちが活動しやすい環境だと思います。園庭の階段については登降しやすく整備されており、大変ありがたいです。園庭で遊ぶ時もしっかり保育していただいていますし、避難訓練を通して、災害時のことも安全面を配慮してもらっているので、良いと思います。いつも、ありがとうございます。」

答・階段はようやく整備できました。また、安全面は来年度に見直していく予定です。

園内の清掃は毎日、幼稚園部のお友だちが頑張っていると思います。ありがとうございます。

- ⑬ 「生活発表会」の衣装のクオリティが上がってとても良かったです。子どもたちが幼稚園に行きたくない。ということが無いので、本当に毎日楽しく過ごせているんだろなあと思います。ありがとうございます。スイミングや習字、音楽など色々な取り組みもありがたいです。」
- ⑭ 「とってもキュートな衣装を用意してもらえて、ノリノリで喜んでくれる子がほとんどだと思います（啓子先生の技術には脱帽です）」
- ⑮ 「今年初の試みの行事短縮でしたが、生活発表会では泣く子もなく、皆楽しそうに発表できているように感じました。短縮したことにより、先生も園児も気持ちに余裕ができたのかなと個人的に感じます。」
- ⑯ 「運動会やおゆうぎ会など子どもが集中できる短時間で言うことができ良かったと思う。今年はおゆうぎ会は他のクラスのも見れて良かった。劇が見られないのが少し残念です。ビデオ撮影してみれる機会があっても良いのかな、、、と思った。」
- ⑰ 「いつも先生方が一人ひとりと向き合い寄り添ってくださっているおかげで、のびのびと楽しく過ごせています。いつも笑顔で迎え入れ、送り出してくださって親も安心して預けることができます。ありがとうございます。」
- ⑱ 「ガソリン代高騰の中、遠方の地域へもバスの送迎をしていただき感謝しております。ありがとうございます。」
- ⑲ 「お野菜たっぷりの給食を毎日ありがとうございます。‘今日はおかわりしたよ。‘などうれし

そうに教えてくれます。

- ⑳ 「お泊り保育、内容盛り沢山でとても楽しかったようで、今でも子どもたちが話しています。一泊二日で沢山の経験ができて良かったです。ありがとうございました。」
- ㉑ 「発表会、どのクラスの子どもたちも一生懸命 上手に出来ていました。子どもたちもたのしかったようです。」
- ㉒ 「今年度はコロナでなくなっていた夏祭りが出来て良かったです。子どもも喜んでいました。」
- ㉓ 「子どもたちを良く見ていただき感謝の気持ちでいっぱいです。親として、とても安心して毎朝預けることができます。これも先生方の熱心な子どもたちへ関わり方のお陰だと思います。今後ともどうぞよろしくお願い致します。」
- ㉔ 「徐々にコロナ前の行事が復活しつつあることをうれしく思います。ただ、行事が短縮して実施されているのは、以前の行事を思うと物足りなくも思います。働き方改革もあるとは思いますが、もう少し以前の行事内容に近づけてもらえるとより充実すると思います。」
- ㉕ 「オペレッタをさくら組はお別れ会で発表するようですが、さくら組保護者だけでもその時に参観か卒園式の日には再度発表していただけないでしょうか？最終学年で発表を楽しみにしていました。見れないのはとても残念です。」
- ㉖ 「劇・オペレッタが観られないのが少し残念ですね。参観という形で7月か12月の開催は難しいでしょうか？お別れ会で披露するとの事ですが、さくら組さんの負担が減っているのか、増えているのか、疑問が残ります。」
- ㉗ 「生活発表会」は単独で考えると充実していた会だと感じました。只、園児たちが裸足で階段下のスペースで待っているのが気になりました。さくら組さんは早く準備し、長い事待っていました。実際子どもたちも冷たかったと話していました。シューズを履かせる、マットを用意するなどの策は打てないでしょうか？今回の演目なら足袋着用で問題なかった様にも思います。」
- ㉘ 「生活発表会は、ひよこももさん、ばらさんで泣いている子がいなかったのも、すごいと思いました。イベントが年度末に1回になったからかなと思いました。イベントは少なくて良かったと思います。」

答⑮⑯⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘・本年度は、コロナ禍を経験したことによる行事の縮小を行いました。最初の参観日で説明しましたが、その後の話し合いでは沢山のご意見がありました。そのため、劇やオペレッタは子どもたちだけで行うということになりました。勿論、働き方改革の部分も含まれます。また、子どもたちの「心の育ち」を優先にしたい、のびのび遊んで心を豊かにしたいという目的が一番であります。幼稚園や学校は、子どもたちの世界です。幼児期においては心も体も発達途中であることから、大人（親・教師・保育士）のケヤー（ケア）が必要とされています。基本は衣食住で、ケヤーとは心配すること・お世話をすること等です。私はこれを愛情として捉えており、子どもたちの人格を作る土台になる大切なものであると思っています。行事を縮小し親に見せることが出来なくなることは、本当に申し訳ない気持ちです。2月に保育室で劇遊びをしている子どもたちや先生の姿を観て思ったことは、自分

たちの世界で楽しく遊んでいる。笑顔の絶えない姿がありました。無理に教え込むこと・何かを覚えさせること等は「教育」ではない部分です。「教育」とは子ども自身が自分の土台に何があるかを知り、安心して意欲を持って取り組むことができるようにするということ。今回の劇やオペレッタの発表の目的は、さくら組さんは在園児に向けて、ちゅうりっぷ・ばら組さんは卒園するさくら組さんへのプレゼントになります。子どもたちの世界だけで過ごすものになりますが、お友だちへ気持ちを伝えるという目的だけがある時間があってもいいのではないかと考えています。お家で子どもたちが自発的に劇やオペレッタの話しをしたら、最後まで聞いてあげてください。

さくら組の保護者の皆様におかれましては、お子様と一緒に次のステップに進みます。経験された方もおられますが、心配したりお世話をしたりと、いままで大変だったと思います。そして、これからは親として不安を抱えていてもお子様を信じて、励ましながら「心」を育てていただければ幸いです。本年度は大変申し訳ありませんでした。職員一同、心よりお詫び申し上げます。

さて、紹介は以上となります。

沢山のご意見ありがとうございました。私は皆様からいただけるご意見により、何度も再確認や再認識することができて、本当にありがたい気持ちであります。職員一人ひとりにおいても、省みる良い機会になります。ご意見の中には、普段の生活においての内容や通園バス、給食についてもふれていただいております。安全面については、現存するマニュアルの改訂など、春休みから次年度にかけて改定したいと思っています。

新しい遊具が設置されます。「少し大きめのおままごとセット」のようなもの。とても楽しんでいます。(3/2 設置完了)

令和6年度も宜しく願い申し上げます。

※この施設関係者評価の内容は、ホームページにPDF形式で閲覧できるように載せます。

読みにくい文面になり、申し訳ありません。また、集計に時間がかかり配布が遅くなりました。お待ちいただき、ありがとうございました。

アンケート内低評価の部分

1、 体力向上について

C 評価が多い。取り組むべき課題です。ただ、園生活の取り組みの説明不足もありますので紹介しておきます。朝の時間、雨天以外は戸外遊びです。園児は園庭で毎日2・3周走ります。その後好きな遊びをしています。そして、昼食後は保育室や階段ホールの雑巾がけを行います。これも体力向上と関節を鍛える工夫です。暑い夏の日には戸外遊びを制限しますが、寒い日は積極的に遊びます。保育部は自称「ストライダー」という2輪車を購入しました。バランス感覚も付きますが、足を動かすので楽しいし、良い運動になります。お部屋ではハイハイなど、これも必要な運動です。幼稚園では全部「遊び」と称しますが、ただ遊んでいるだけではありませんので、紹介させていただきました。

2、 英語指導について

C 評価や D 評価が多い。月1回の英語指導です。ヴィクトリア先生が講師です。内容を変えていかなければならないと思っています。また、先生も勉強するべきことが多い分野です。このからの課題と言えます。

3、 玄関の掲示板(掲示スペース)について

BCD の評価。努力します。いただいたチラシやお店の宣伝もあります。県内の施設、消防など様々ありました。コロナや感染症が心配であったため、配布しなかった物もありました。できる限りの情報提供を心がけていきます。

4、 その他 教育目標 活動

個々で達成感は変わってくると思います。芽生えてくる時期でもありますので、声をかけ乍ら見守っていきたいと思います。心配事は担任の先生か園長にご相談下さい。

5、 保育部と幼稚園

アンケート内容を各部において、年齢に合う内容に変更することが望ましいので、来年度以降は保育部用を作成して実施したいと思います。

最後まで読んでいただきまして、ありがとうございました。

担任の先生 又は 園長先生とお話を希望される方は、遠慮なくお申しつけ下さい。お子様の悩みなど、お話をすると園での状況も分かります。日時の調整をしてお知らせしますので、是非、お申し込み下さい。

きりとりせん

面談 申込書

クラス名 _____ 園児氏名 _____

平日の夕方 15 時～17 時の対応になるかと思っています。